

2病棟

ゆいの会 パフォーマンスショー



子どもたちは夏休みの真っ最中の8月22日の午後。「ゆいの会」というグループの方が三重病院に来てくれました。「ゆいの会」は病院に入院して毎日の治療を頑張っている子どもたちへ

向けて、プロのパフォーマーさんが楽しいひと時をプレゼントしてくれるボランティアグループです。今回はくすのき燕さんに「腹話術「ハロー! カンクロー!」と「肩掛け人形芝居「ねずみのすもう」」を披露してもらいました。

コミカルな動きとお茶目なお喋りを繰り広げるカラフルな鳥の「カンクロー」に子どもたちはクスクス笑ったり、膝を叩いての大笑い。又、肩から下げたつづらの上で繰り広げられる軽妙でスピード感のある人形芝居にも、一瞬たりとも目を離すことなく引き込まれていました。つづらの上とは思えないほど、小さな舞台と感ぜさせず大きな空間に見えてくるのがとても不思議でした。

病院での入院生活は自分の体のこと・治療に向かう気持ち作りなど日々自分と向き合うことが続きます。時に辛くなったり、めげそうになったりもします。こういった楽しいものを楽しいと感じて素直な気持ちで思いっきり笑う、という機会は心のリフレッシュになり、次また頑張ろうと思える気持ちの素になるのではないのでしょうか。色々な人が色々な方法で子どもたちの入院生活を応援して支えてくれているんだなぁと感じました。入院生活、嬉しいこと・辛いこと色々な気持ちになることが沢山あるけれど、これからも一緒に乗り越えて頑張っていきたいと思います。

(2病棟児童指導員 福山 涼)



やまびとがわい 個展 Information 情報コーナー



9月のギャラリーは、十五夜にちなんで、ススキと団子。お月見団子に3色団子、みたらし団子もありました。ちょっと予定よりも小さくなってしまったお団子……。みけにゃんが美味しくいただきました。

今月のギャラリーは、ふしぎな木です。この木、なんの木、気になる木🎵です。名前なんてありません。患者様の個性の光った創造性豊かな作品を是非見に来て下さい。

ちなみにCMでお馴染みのあの木は、モンキーポッドというそうです。

(児童指導員

筒井 皓太)



5病棟の生活のひとコマ 17

秋の気候となり、涼しくなってきましたね。最近台風が多く発生していますので、どうかお気をつけください。5病棟では台風になんか負けない!と、明るく楽しく行事や療育活動を行っています。8月の誕生会では、療育指導室の保育士・児童指導員の3名が「大きなカブ」というお話の劇に挑戦! 大きなカブを抜くのに、お誕生者を巻き込んだ内容になりました。カツラをかぶってお父さん役になった患者様、おばあさんに扮した患者様、最後には猫やねずみの手も借りたいと…お面を被った患者様と、8名の誕生者がカブのロープを一生懸命引っ張りました。抜けたときは「わ～」と楽しい笑い声が聞かれました。患者様もスタッフも含め、ほっこりと楽しい時間を過ごしました。

また、療育活動では、秋といえば!! ということで、出張ブドウ狩りをしました。保育士お手製の大き粒のブドウがとても美味しそうと、患者様の顔もにこにこです! どのブドウを取ろうかなと悩みながら、患者様の手がスーッと伸びて、ブドウを沢山狩っていただきました。来月も色々な活動を行っていききたいと思います。

また、療育活動では、秋といえば!! ということで、出張ブドウ狩りをしました。保育士お手製の大き粒のブドウがとても美味しそうと、患者様の顔もにこにこです!



ぶどう狩り



大きなカブ

(児童指導員 筒井 皓太)